

# 『やさしい猫』 著者が モデル弁護士に 聞く 入管問題

登壇者 指宿昭一弁護士

駒井知会弁護士

聞き手 中島京子（小説家）



家族三人で「強制送還されるか、死ぬか、どちらかを選べと言われている気がする」暮らしたい

ただそれだけの望みを叶えるのがこんなに難しいなんて

『長いお別れ』『夢見る帝国図書館』の中島京子 長編小説最新刊

中央公論新社  
定価2090円(10%税込)

# 『やさしい猫』 あらすじ

- + ● 保育士のミユキさんは東日本大震災のボランティアで、スリランカ青年のクマさんと出会う。一年後、東京で再会、二人は交際を始める。ミユキさんの娘マヤは当時小学生。だんだんと交流を深める中で、家族同然に暮らし始め、結婚も誓う。
- + ● ところが働いていた工場がつぶれ、職探しをしている間にクマさんの在留カードの期限が切れてしまう。慌てて結婚届を出し、クマさんは配偶者ビザの申請のために入管に行くが、途中で職務質問を受け、オーバーステイだということで入管に収容されてしまう。口頭審理の結果、ふたりの結婚は「女性は金目当て、男性は在留資格欲しさの偽装結婚」と決めつけられ、クマさんに退去強制令が出てしまう。
- + ● 困ったミユキさんは元入管職員の上原さんに紹介してもらい、ハムスター先生こと恵弁護士のもとへ。家族はクマさんを救うため裁判を起こす。高校生になったマヤは、クルド人の男の子ハヤトくんを通じて難民の存在にも気づいていく。マヤのおさななじみナオキくんらの協力もあり、マヤは裁判での証言を決意する。。。

# 『やさしい猫』登場人物

+ マヤ

ミユキの娘。高校生のマヤの視点で、家族の出来事を語る。

+ ミユキ

保育士でシングルマザー。東日本大震災ボランティアでクマラと出会う。

+ クマラ

通称クマさん。スリランカ青年で自動車整備士。失職し在留資格を失う。

+ ナオキ

マヤのおさななじみで親友。裁判に協力する。弁護士志望。

+ ハヤト

クルド人。日本生まれ日本育ちだが仮放免の17歳。マヤの初恋の相手。

+ ジャフアル

クマラと入管の収容施設で知り合う。イラン人。在日30年。

+ ペレラ

スリランカレストランを経営。日本人と結婚し、永住資格を持つ。

+ 恵耕一郎

通称ハムスター先生。クマラの代理人になる弁護士。

+ 江藤麻衣子

恵弁護士の同僚。難民問題に詳しい。ハヤトの代理人でもある弁護士。

+ 上原賢一

元入管職員で行政書士。

# INFORMATION

- 未成年仮放免者と家族に在留許可を求める署名

+ オンライン署名・日本に生まれ育った未成年の仮放免者とその家族に在留特別許可を！・Change.org

- ウィッシュマさんのご遺族と弁護団を支援するカンパ振込先

みずほ銀行・高田馬場支店（064）・普通・2593811 預り金 弁護士  
指宿 昭一（アズカリキン ベンゴシ イブスキ ショウイチ）

ウィッシュマさんのご供養のための費用、訴訟を続けるための費用、ご遺族の滞在費、翻訳・通訳代、ウィッシュマさんの死の解明に必要な諸経費として使われる「預り金」であり、弁護士指宿昭一個人の口座とは別に収支を管理しています